



1	2
3	4
5	6
7	8

- 1. 場所 : koike drums の母体となる製材所
- 2. 木材 : ストックされた原木が出番を待つ
- 3. 選材 : 選材された板の中から、ドラムに合うものを選ぶ
- 4. 木取る : 使う部分を切り出す
- 5. 成形 : 定規を使い接ぎ口を作る
- 6. 削る : 手鉋で胴の厚みを整える
- 7. 仕上げ : 磨きをほどこし、塗装をする
- 8. 取付け : 金具を付け、皮を張る

 **koike**®
www.koikedrums.com



 **koike**®



[栗/クリ]

無垢のドラム

私たちは、日々木材の乾燥をとっても大切にしています。よく手入れされ、年月を経た材はそれだけで製品にする価値と期待感があるものです。

このドラムはそんな環境から生まれました。無垢の木から生まれるそれにしかない音を感じて楽しんでいただければと思います。



[栗/クリ]

木の音

koike drumsは、樫(サワラ)・栗(クリ)・松(ヒノキ)のセットがあります。それぞれに音は違い、同種の木でもまた音は違います。そもそも木で均質なものを作るのは難しいものです。

それぞれの音、またその先をイメージさせる音、自分だけの感覚に問いかけてくる木の音を感じてもらいたいです。



[木曽檜/キノヒノキ]

桶製法

木製ドラムは1枚の板を繊維方向に曲げる製法が多いですが、koike drumsは桶(おけ)の製法で作られます。ひとつの直径用の木型を使えば中の違う板でも円形に組むことができます。

木とともに生きてきた町で受け継がれた技術、手仕事で仕上げられたシンプルで清々しいフォルムは、その音と無関係ではないと思っています。